

大雨、地震での地盤のゆるみに注意しよう！

急峻な山々に囲まれた新居浜市では、風水害や地震による土砂災害のおそれがあります。近年の土砂災害の状況を踏まえ、わが国では「土砂災害防止法」に基づき、国民の生命および身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。

近年の気象状況を踏まえ、土砂災害についての理解を深め、発生に備えてスムーズな避難を行うことが防災・減災につながります。

山間部
山崩れに注意が必要です。山崩れは、集中豪雨だけでなく地震によっても発生します。

急傾斜地
がけ崩れに注意が必要です。がけ崩れは、豪雨や地震によって突然発生します。

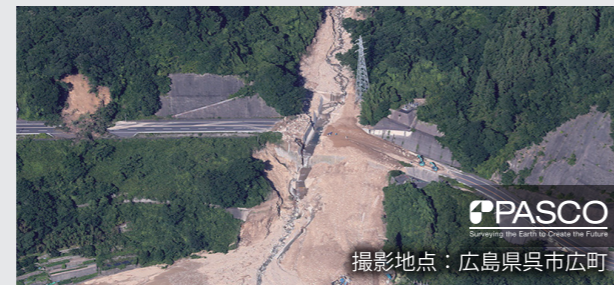
下流部
山間部の集中豪雨に注意が必要です。豪雨によって山崩れが起きると、土石流の危険があります。

2018年(平成30年)7月豪雨の土砂災害

7月5日から本州付近に停滞する梅雨前線が活発になり、九州から東北にかけて、広範囲で断続的に非常に激しい記録的豪雨となり、6日夕方から8日までの降雨記録では、48時間降雨量は124地点、72時間降雨量では122地点で観測史上1位を更新しました。土砂災害発生件数は、1道2府29県で2,581件に及び、土石流等791件、地すべり56件、急傾斜地の崩壊1,734件の甚大な被害となりました。

死者	237名	住宅被害	全壊	6,767戸
負傷者	432名		半壊	11,243戸
			一部損壊	3,991戸

出典 | 降雨記録：気象庁 平成30年7月13日発表
被災件数：内閣府 平成31年1月9日17:00時点集計



日本に土砂災害が多いのは？ 日本列島の地形や地質・気象などの自然条件に大きな原因があります。

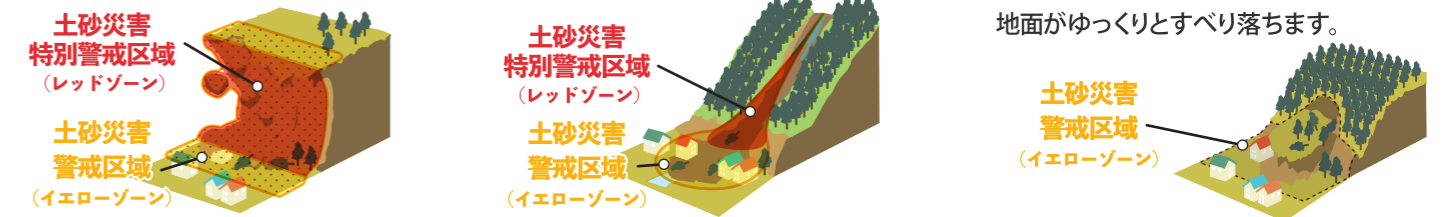
- 地形や地質：山地が多く平地が少ない・もろい地質・急流な川
- 気象などの自然条件：大雨/台風・集中豪雨・大雪・地震・火山の噴火など

主な前兆現象 土砂災害が起こる多くの場合、事前に危険と思われる変化が見られます。よく注意してください。

川がにごった 川がにごり、木の枝などが混ざりはじめた	水位が下がった 雨が降り続けているのに川の水位が下がった	亀裂が走った 山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った	石が落ちてきた 山の斜面から石が転がり落ちてきた
湧き水が止まった 今まで枯れたことのない湧き水が止まった	湧き水が増えた 湧き水の量が急に増えた	井戸水がにごった 普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた	地鳴りがする 地鳴りの音が聞こえてきた

3つの土砂災害 発生のしくみや土砂の働き方から、大きく「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地すべり」があります。

1 急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ) 傾斜した土地が崩壊する自然現象。突然崩れ落ちるため、ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。	2 土石流 山肌が崩落して生じる土石などや、溪流の土石などが一体となって流下する自然現象。その流れの速さは、時速20km~40kmで、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。	3 地すべり 地面は何層もの地層が積み重なってできていますが、大雨が降り続けると地下に水がしみこみ、水を通しにくい粘土層の上に地下水がたまりやすくなります。この地下水の力に持ち上げられて、粘土層を境に上の地面がゆっくりとすべり落ちます。
--	---	--



土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	土砂災害が発生した場合に、建物が壊れて命や身体に著しい危害が生じるおそれのある区域
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	土砂災害が発生した場合に、命や身体に危害が生じるおそれのある区域

ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

P.26-65

雨/土砂災害警戒情報に注意

土砂災害の多くは雨から起こります。降雨量が以下のような場合は注意が必要です。

1時間に **20ミリ** 以上
降り始めから **100ミリ** 以上

土砂災害警戒情報は、土砂災害の危険性が高まった際、愛媛県と松山地方気象台が発表する避難に有効な情報です。早めの避難を行いましょう。
えひめ土砂災害情報マップ ▶

土砂災害警戒情報

20ミリ

土石流からは直角に避難

安全な場所まで立ち退き避難
レッド・イエローゾーンは崩れる前に早期の避難を！

直角に逃げましょう！
土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。

屋内安全確保

土砂災害がすでに起こってしまい、逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難

建物の2階以上で斜面とは反対側の部屋など、屋内の少しでも安全な場所へ避難しましょう。特に土石流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上階に避難しましょう。大雨が上がっても油断せず注意が必要です。

山津波の可能性

山津波とは、山崩れによって生じた土石などが水と一体となって流れ落ちる「土石流」の俗称です。特に大雨、大地震などで、山腹が崩れて一時的に湖(ため池)ができ、それが崩壊して、せき止められた多量の土砂、岩石などが急激に流れ落ちます。津波のように激しい土石流が一気に下流を襲う、大変危険な現象です。